

コンクリートタンパー組立図

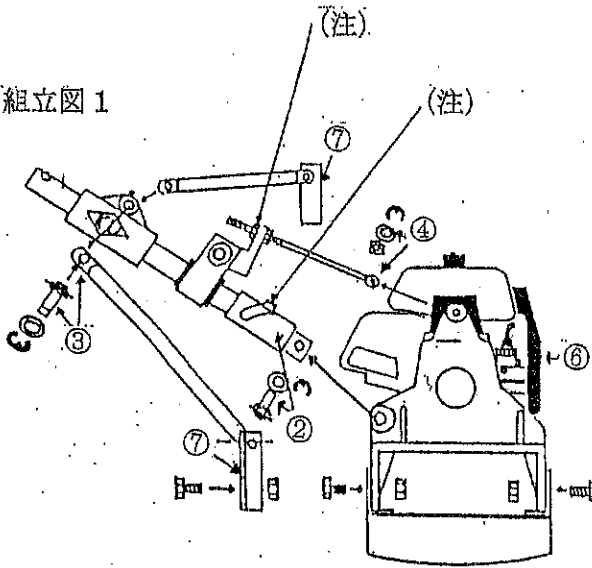
組立の注意

発送の際はエンジンを外し、底板と取り付けアングルが別々になっています。組立は誰にでも容易に出来ますが、特に下の図の部分に関しましては、下図を良くご参照になって組み立てて下さい。

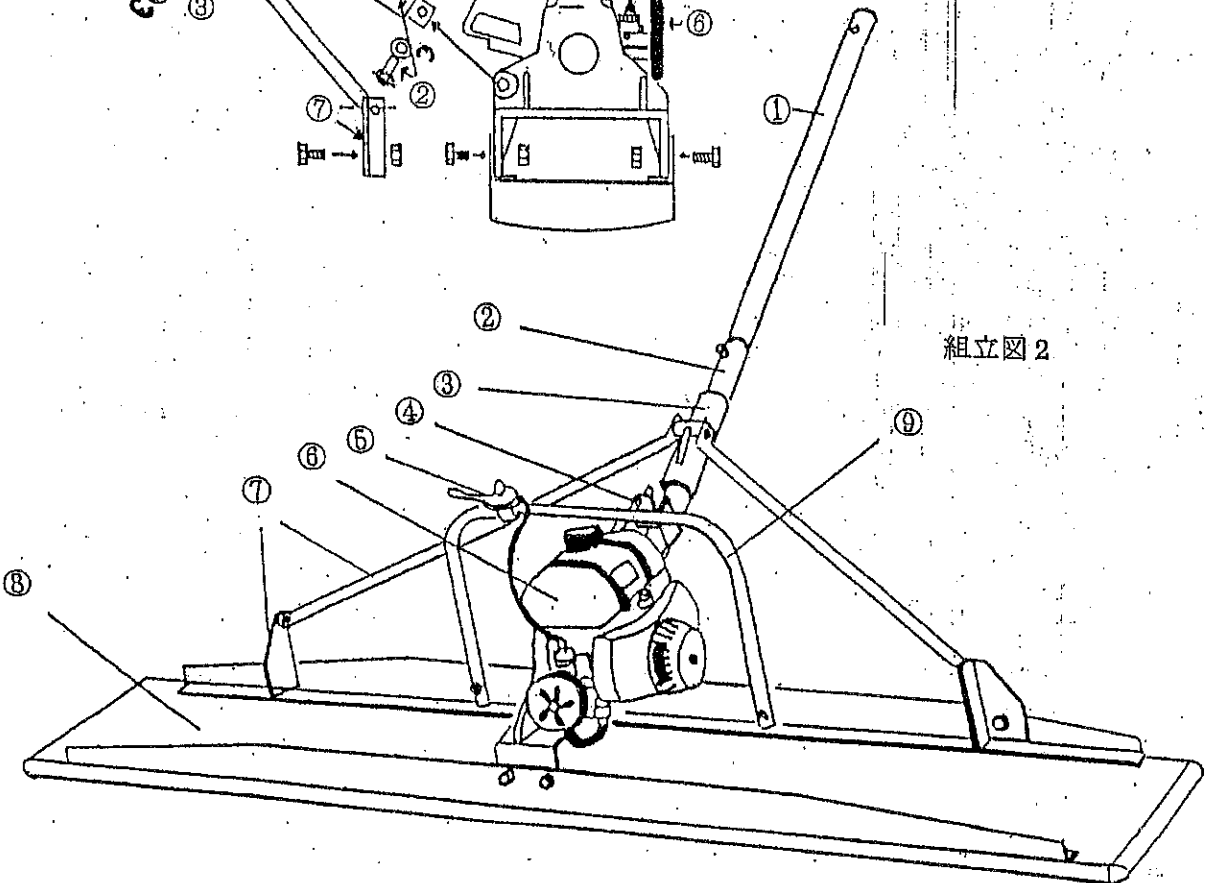
注) パイプの柄の先端を腰の位置に置き、柄を回しながらカムパイプ②の真上の部分にボスを合わせてから、角度調節ボルト④でしっかりとセットします。

①ハンドル
②カムパイプ
③スライダー
④角度調節ボルト(ハンドル)
⑤アクセルレバーワイヤー
⑥エンジン
⑦ステイパイプ(右)
⑧ステイパイプ(左)
⑨アクセルステイパイプ

組立図 1



組立図 2

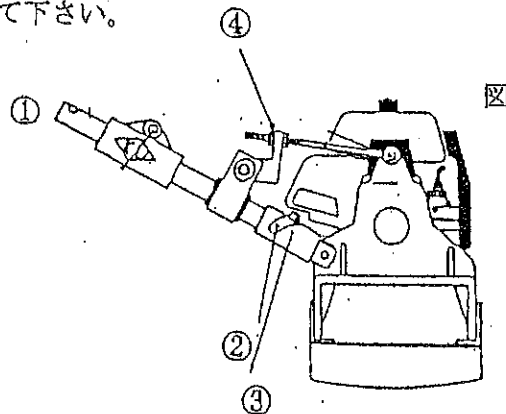


コンクリートタンパー使用説明書

機 種	KU-1500 KU-1800 KU-2500
ウ ン ジ ン	ロビン NB-351
タンク容量	0.7リットル
連続定格出力	1.0ps/6.000rpm
最大出力	1.0ps/7.000rpm

◆ 組立の注意

発送の際はエンジンを外し、底板と取り付けアングルが別々になっています。組立は誰でも容易に出来ますが、特に下の図の部分に関しましては、図を欲ご参照の上で組み立てて下さい。



- * パイプの柄①の先端を腰の位置に置き、柄を回転させてカムパイプ②の真上の部分にボス③を合わせ、上部ボルト④にてしっかりとセットします。
- * この状態でタンパーの底板が水平にセットされています。
パイプの柄を右に回すことによって、底板の前部が上がりひだりに回すことによって底板の後部が上がります。

使用方法

生コンを流す→流しながらトンボ或いは手により追いかけるように平らにしていく→タンパーによりアマが浮くような状態に仕上げる。

大きな現場の場合、このあとトローウェルによって仕上げを行えば、かなり能率が上がります。

使用上の注意

① エンジンの回転数をフル回転させないこと

フル回転させると振動が強くなり過ぎてダンパーが沈み、前進・後進させ辛くなると同時に、エンジンの焼付けを発生させる恐れがあります。

低速（スロットルレバーを下から2番目程度）回転の方がダンパーそのものも沈まず、前後進も楽に出来ます。また、アマの浮きも良く、手分業4~5人分のメリットがあります。

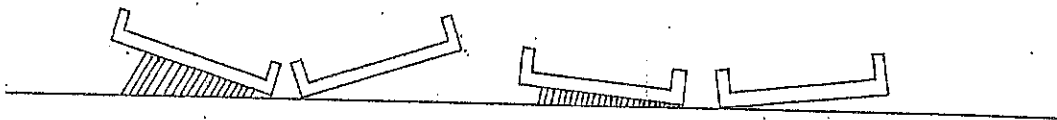
高速回転にした場合 _____ (振動が小さくなりすぎる)

低速回転にした場合 ~~~~~ (振動が大きくアマの浮き出しが容易に出来る)

② 底板・前後部の角度を極端に上げ過ぎないこと。

不可

良



③ タンパーで均したあとのサイドに筋跡が付く場合

筋跡を30cm程度の幅のトンボで均すか、アルミ下駄を使用してコテなどで均せば、筋跡が消えます。

